

## 第 192 回リレー講演会 (感性工学・繊維分野)

■日時：平成 29 年 7 月 20 日 (木) 14:00～17:00

※終了後 (17:00～) 名刺交換交流会開催

■会場：信州大学繊維学部内 AREC (上田市産学官連携施設 4 階)

## 講演 1

14:00～15:00

## 【演題】「ファッションアパレルに関する感性工学的研究」

講師：信州大学学術研究院(繊維学系)教授 国際ファイバー工学研究所 所長 高寺 政行 氏

【概要】日本衣料製品の国際プレゼンスが低い水準にある。この原因を探る為、テキスタイルの設計と服飾造形について技術的経営的研究を進め、布の設計・計測の自動化、衣服設計のデジタル技術の応用および e-Commerce(BtoB・BtoC)と TPS(Textile Proposal System/テキスタイル提案システム)の構築を行った。その研究の衣服設計分野、テキスタイル分野、商学・経営学分野について具体的判明事例を紹介する。

## 講演 2

15:00～16:00

## 【演題】「シャツメーカーと経営」

講師：フレックスジャパン株式会社 代表取締役会長 矢島 久和 氏

【概要】私はアパレルに何の興味もなかったが父が縫製工場をやっていたので縫製屋になったに過ぎない。入った時は下請け工場だったがその後シャツメーカーになった。それから 65 年どんだの下請け工場からシャツ専業メーカーでは大手と言われる今日まで多くの経験をして来たと言っていい。多くのシャツメーカーが消えて行くのを目の当たりにして、また日本を代表する大企業の混乱する姿を見るにつけ、経営とは一体何であるか自分が歩んできた道を振り返り、どうして当社は倒産しないで来られたのか考える事が多くなった。シャツ屋として経営とは何であるか考えて見たい。

## 休憩

## 講演 3

16:00～17:00

## 【演題】「高機能マスターバッチ製造技術「マジカルアシスト」

講師：ダイワボウノイ株式会社 機能材料研究開発室 室長 築城 寿長 氏

【概要】様々な技術の融合が新しいものを生み出す 1 つの手段として重要視されており、当社においても、事業会社の得意分野を融合し、新しい技術・製品・事業の創出が求められています。ダイワボウノイの織編物への新規機能性薬剤の開発と後加工、ダイワボウレーヨンの水分散機能剤の練り込み、ダイワボウポリテックの合成繊維への固形機能剤の練り込み。これらの技術から、当社としては異業種となる機能性マスターバッチ製造技術「マジカルアシスト」を新たな事業としてスタート。繊維だけでなく、フィルム、樹脂成形品への応用についても紹介致します。

●お申し込み先 AREC・Fi i プラザ事務局 宛

電話 (0268-21-4377) [メール \(mousikomi@arecplaza.jp\)](mailto:mousikomi@arecplaza.jp) FAX (0268-21-4382)

下記を FAX またはメールでお送りください。テキストの準備等のため、なるべく事前申し込みをお願いします。

AREC・Fi i プラザ 第 192 回リレー講演会 参加申込書		(平成 29 年 7 月 20 日)	
企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	FAX 番号		

※ご記入いただいた個人情報 (御社名、所属・役職、氏名) は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません